

## 本文

※例文は学習用です。

- ① 如(も)シ我(われ)死(し)セバ、子(し)之(これ)ヲ繼(つ)ゲ。 /もし我死せば、子之を継げ。
- ② 若(も)シ雨(あめ)降(ふ)ラバ、行(ゆ)カズ。 /もし雨降らば、行かず。
- ③ 苟(いやしく)モ志(こころざし)有(あ)ラバ、事(こと)竟(つひ)ニ成(な)ル。 /いやしくも志有らば、事竟に成る。
- ④ 苟(いやしく)モ過(あやま)チ無(な)カラバ、何(なに)ヲカ改(あらた)メン。 /いやしくも過ち無からば、何をか改めん。
- ⑤ 縦(たと)ヒ千万人(せんまんにん)ト雖(いへど)モ、吾(われ)往(ゆ)カン。 /たとひ千万人と雖も、吾往かん。
- ⑥ 縦(たと)ヒ彼(かれ)来(き)タルトモ、懼(おそ)ルル勿(なか)レ。 /たとひ彼来たるとも、懼るる勿れ。
- ⑦ 縦(たと)ヒ貧(まづ)シクトモ、学(まな)ビヲ廢(はい)セズ。 /たとひ貧しくとも、学びを廢せず。
- ⑧ 使(も)シ我(われ)富(と)マバ、必(かな)ラズ人(ひと)ヲ救(すく)ハン。 /もし我富まば、必ず人を救はん。
- ⑨ 令(も)シ汝(なんぢ)知(し)ラバ、速(すみ)ヤカニ告(つ)ゲヨ。 /もし汝知らば、速やかに告げよ。
- ⑩ 微(な)カリセバ管仲(くわんちゆう)、吾(われ)其(そ)レ髮(はつ)ヲ被(かうむ)ラン。 /管仲微かりせば、吾其れ髪を被らん。
- ⑪ 如(も)シ機(き)ヲ失(う)しハバ、悔(く)イテモ及(およ)バズ。 /もし機を失はば、悔いても及ばず。
- ⑫ 苟(いやしく)モ信(まこと)有(あ)ラバ、遠(とほ)ク自(よ)リ人(ひと)来(き)タル。 /いやしくも信有らば、遠くより人来たる。

## 設問

1. ①の「如」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
2. ①「如我死セバ」を書き下し文に改めよ。
3. ②の「若」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
4. ②「若雨降ラバ、行カズ」を現代語訳せよ。
5. ③「苟志有ラバ、事竟ニ成ル」を書き下し文に改めよ。
6. ④「苟過チ無カラバ、何ヲカ改メン」を現代語訳せよ。
7. ⑤「縦千万人ト雖モ、吾往カン」を書き下し文に改めよ。
8. ⑥「縦彼来タルトモ、懼ルル勿レ」を現代語訳せよ。
9. ⑦の「縦令」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
10. ⑦「縦令貧シクトモ、学ビヲ廢セズ」を現代語訳せよ。
11. ⑧「使我富マバ、必ズ人ヲ救ハン」を現代語訳せよ。
12. ⑩の「微」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。

13. ⑩「微カリセバ管仲」を書き下し文に改めよ。
14. ⑩の「微カリセバ管仲」は、実際には管仲がいたうえで述べられている。このように「もし（実際にはあった）～がなかったら」と、事実に反することを仮定する言い方を何というか。次から選べ。
- ア 順接の仮定
  - イ 反実仮想（事実に反する仮定）
  - ウ 単純な条件
15. ⑪「如機ヲ失ハバ、悔イテモ及バズ」を現代語訳せよ。
16. 記述「如・若」と「苟」は、どちらも「もし～ば」と訳せる順接の仮定を作るが、「苟」には「かりにも・少しでも」という強調のニュアンスが加わることが多い。⑫「苟信有ラバ」を、この強調のニュアンスを生かして現代語訳せよ。
17. ③④の「苟」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
18. ⑤⑥の「縦」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
19. ⑧の「使」、⑨の「令」は、ここではどのような意味の語として用いられているか。次から選べ。
- ア ～させる（使役）
  - イ もし～ならば（仮定）
  - ウ ～してはならない（禁止）
20. ①③のような「如・若・苟（もし～ば／いやしくも～ば）」が表す仮定と、⑤⑥のような「縦（たとひ～とも）」が表す仮定とでは、前後のつながり方がどう違うか。「順接」「逆接」の語を用いて説明せよ。
21. 次の各文は、順接の仮定（もし～ば）と逆接の仮定（たとえ～ても）のどちらか。それぞれ記号で答えよ。
- (1) 如シ晴レバ、出デン。
  - (2) 縦ヒ敗ルトモ、悔イず。
  - (3) 苟モ努メバ、達セン。
22. 記述 漢文で「仮定」を表す語には、訓読のうえで共通する特徴がある。①～⑨の書き下し文を参考に、仮定の条件を示す部分の末尾がどのような形（送り仮名）になっているか、一語で答えよ。